

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに別けています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● 記号は具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告
● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

注意
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
● 浴室内など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるとは取り付けないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に落とすおそれがあります

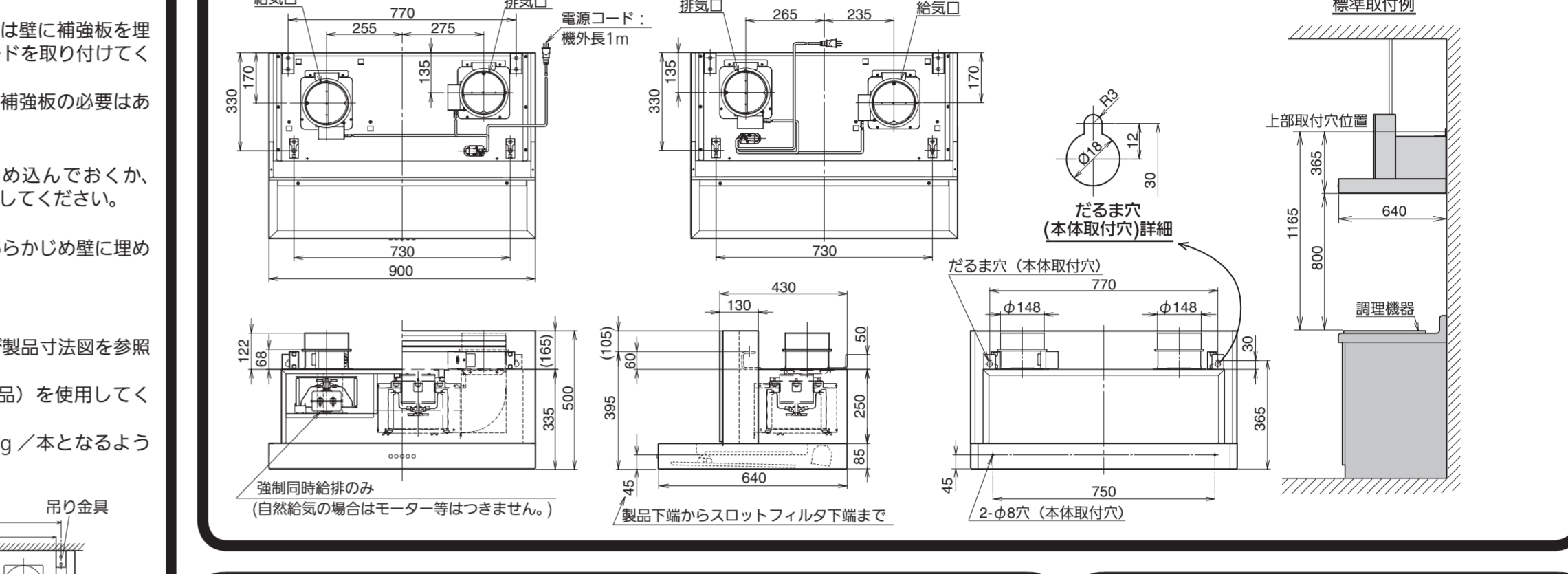
取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的資格者が必要になります。
● 大工工事(設置のための下地工事等)
● 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
● 電気工事(ダクト配線およびレンジフードからのダクト接続等)
● 電気工事(配線工事)
● 電気工事(ダクト配線)

取り付け前の調査と準備

警告
● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 燃焼技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

製品寸法図



取り付け前の確認

● 製品は調理機器の真上に取り付けください。なお、製品は調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因となります。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対にやめください。
● 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただくは、よりすぐれた換気ができます。
● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
● 寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので、排気ダクト・給気ダクトには断熱材を巻くなどの対応をしてください。
● 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

付属品

座付ねじ(φ5.1×45, 4本)
吊り金具(2個)
取付ねじ(M4×8, 10本)
フランジ付き六角ナット(M10, 4個)
天吊り金具(2個)

各部のなまえ



取り付けかた

1. 付属品の確認

注意
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
● 梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認します。
● 取付作業の際は、キズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「5. 本体の取り付け」手順5までは必ずお使いください。(図1-1)

2. 本体の準備

注意
● 本製品は右側排気用と左側排気用の2種類があります。取り付けの前に確認してください。
● 本説明書は右側排気用の図で説明していますが、左側排気用の場合は給気口・排気口の位置が逆になりますが、取付方法は同じです。

3. 給気・排気ダクトの準備

警告
● メタルスズ張り、ワイヤスズ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズ、ワイヤスズ、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的資格者が工事をおこなうこと
● 火災などの原因になります
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 火災などの原因になります

4. 給気用・排気用部品の取り付けと接続

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した給気口・排気口を用意してください。
給気口・排気口の取り付け
給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼ります。(図4-1)

5. 本体の取り付け

注意
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に設置してください
● 作業は2人以上でおこなうこと
● 製品は約41.5kg(自然同時給排タイプは38.5kg)の重さがあります

6. ダクトと給気用・排気用部品の接続

注意
● ドリリングタッピングねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピングねじを使用範囲以内に固定してください。(図6-1)

7. 電気配線

警告
● 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 発火・感電したり、異常動作しけがをするおそれがあります

8. 給気幕板の取り付け

1 前ふたをはずします。(図8-1)
給気幕板・前ふたを梱包箱から取り出し、固定テープを剥がして前ふたをはずします。
2 給気幕板を取り付けます。(図8-2)
3 前ふたを取り付けます。(図8-3)

9. 試運転

注意
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
● 運転時、各通風の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
● 前ふたのルーバーを調整して、給気風が天井面と直接当たらない位置にセットしてください。(詳しくは取扱説明書をご覧ください)
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気風、異常音がないことを確認してください。
● 取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

11. お客さまへの説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。